



# 障がい者スキー交流会 2023に参加して① ～参加者の家族より～

会場：安比高原スキー場

日時：令和5年3月4日(土)

～3月5日(日)

OT：4名参加

障がい者スキー交流会2023に参加しました。

毎年岩手県障がい者スポーツ協会が開催して下さるこの交流会、スゴイ会なんです。

日本プロスキー教師協会の障がい者スキー指導者の方々が全国から参集して下さり、安全面に配慮し、未経験者でも障がい特性に合わせた指導を受けられ、楽しみながらスキーを体験することができるのです。

冬季スポーツが盛んな岩手県ではありますが、サポートスタッフとして県内の理学療法士、作業療法士、学校教員の方々も多数かかわり開催されるこのような交流会は、全国でも類を見ない貴重な会なのだそうです。

参加者の障がいも様々ですが、チェアスキー、バイスキー、ブラインドスキー、立位スキーと、特性に合わせてスキーを楽しむことができます。

わが家のりんは、頸も座らず、自力で座位も取れないのですが、バイスキーでゲレンデを滑ることができます。家族で楽しく滑ることが目標。今年は新潟県ヨーデルスキー学校の板垣玲奈先生が講師でついてくださいました。

『りんちゃん、ゴンドラの下をくぐって行くよー！』

『りんちゃん、スピードでるよー！』





# 障がい者スキー交流会 2023に参加して② ～参加者の家族より～

言葉もなく、楽しいのかどうかわからない…快晴の雪山が眩しいのか時折目を閉じてしまう、寝てるのかな…きっと板垣先生、悩まれていたと思います。

板垣先生！りんは全部全部楽しんでいましたよー

そうなんです。

障がい重い故に、意思を伝えるのがとても難しいりんです。でも、優しく語りかけてもらう言葉。青い空に真っ白のゲレンデ、反射する太陽の眩しさ。リフトでのガタガタ感、滑り降りるとき頬に感じる冷たい風と爽快感。

全部全部しっかり受け取っているのです。

ちょっと窮屈だったゴーグルを外したとき、クルクルっと動かす大きな瞳が、楽しかったよー、気持ち良かったよー、と伝えてくれます。その時表現できなくても、心の泉にしっかりその楽しかった思いが満ちていくのです。

りんほどの重い障がいでも、スキーを楽しめるんですよ。

毎年岩手県に来てくださる先生方、貴重な経験をありがとうございます。

岩手県障がい者スポーツ協会の事務局三浦さん、全国の先生方も絶賛のこの交流会、いつもいつもありがとうございます。

今回は仲良しのOT二階堂さん、りんのボーイフレンドたちも一緒に、とってもとっても嬉しかったです。

また来年を楽しみにしたいと思います。

りんの母 三浦かおる

